

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	上野中学校大規模改修					所管	教育委員会 庶務課
	行政計画	事業NO.	242	計画事業名	区有施設の老朽化対策			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] IV-2. 行政経営の推進						
		[小 柱]						
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区教育委員会事務局処務規則第2章第10条				
	事業対象	台東区立上野中学校						
	事業目的	安全で良好な教育環境の維持						
	事業内容	上野中学校は築後50年以上が経過し、建築・設備の老朽化が進行している。そのため、電気・空調・給排水等の基幹設備の更新を図るとともに、バリアフリー対応や地球環境に配慮するなど、新しい時代に即した教育環境の整備を行う。 平成27年度 上野中学校大規模改修実施設計 平成28年7月～30年3月 上野中学校大規模改修工事						
	委託の有無	全部委託	委託内容	設計業務の委託				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	設計・工事(改修工事面積)	m ²	6,350	-	-	設計	
		成果指標	工事進捗率	%	100	-	-	0
	決算額 (単位:千円)				-	-	16,055	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-	-	4,592	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-	-	16,055	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-	-	0	
		総経費			-	-	20,647	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-	-	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-	-	0	
一般財源(区負担額)			-	-	20,647			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	学校施設の保持と教育環境の充実を図るため、設置者である区の責務として計画的に大規模改修工事を実施し、施設環境を補修・改善していく必要がある。					
	効率性	3	工事実施にあたっては、安全性や緊急性を重視し、既存施設の有効利用を図りながら、経費節減に努めている。					
	手段の適切性	4	経年劣化した内外装の改修、電気・給排水等の基幹設備の更新、居ながら工事による効率的な工区分け等を総合的に勘案した設計が、専門的な視点から適切に提案されている。					
	目的達成度	4	限られた予算と時間の中で、効率的な工事を行うための実施設計が完了している。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	維持		
限られた予算と期間で、効率的、確実に施設の内外装改修、給排水等基幹設備の更新、バリアフリーへの対応を図るとともに、現代の社会要請に即した良質な教育環境を整備しなければならない。					拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			